

工事の げんば 現場より

今はこんな様子だよ。



3月1週目

旧東慶寺仏殿に使われている材料には、受ける重さに対して構造的に弱く、耐力が十分でなかったために大きな亀裂が入ったり、地震を受けて折損してしまったりしているものがあります。キズがある材料では本来の力を発揮できないため、今後永く建物を支えたり、地震に耐えたりすることは困難です。

修理工事において、あまりに弱ってしまった材料は取り替えることを検討することもあります。今回は永く伝えられてきた材料そのものの価値を尊重するため、取り替えをせず亀裂を埋めることで低下した強度を補う工事を行うこととしました。

今回行った手法は亀裂に強力な接着剤（エポキシ樹脂）を充填する方法で、ただし表面部分は木材で埋木をしています。見た目は伝統的な修理ですが、現代素材を活用し強度を補うという、ハイブリットな修理方法です。

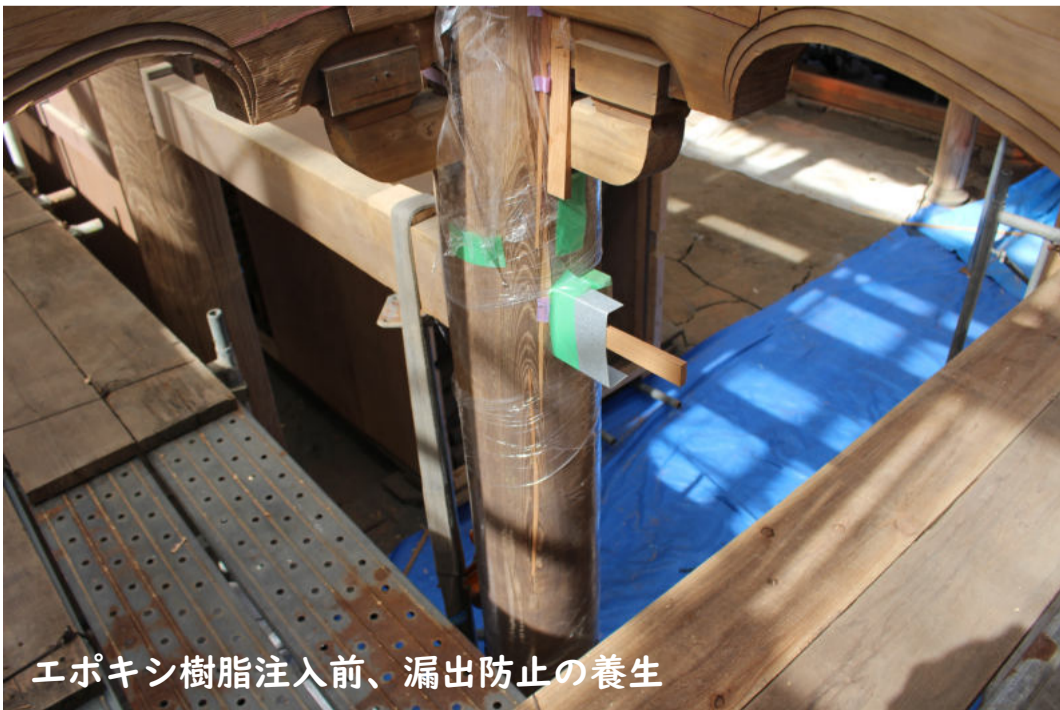
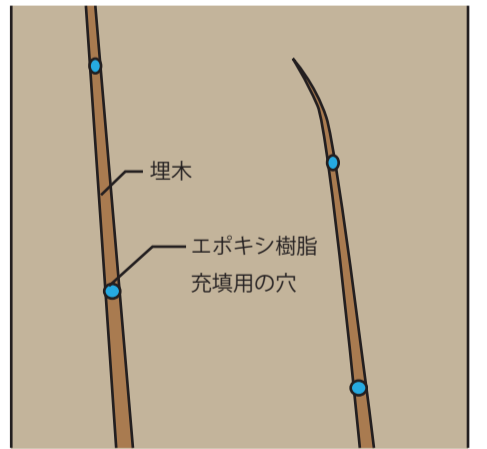
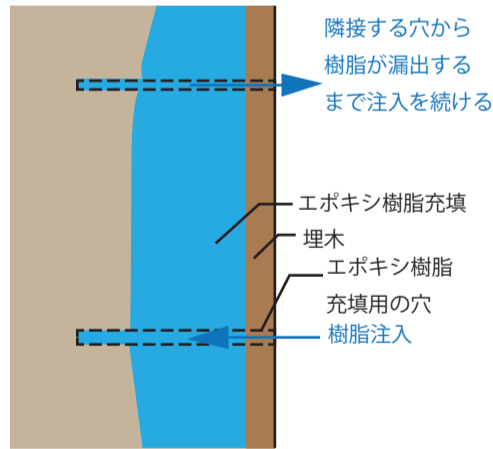
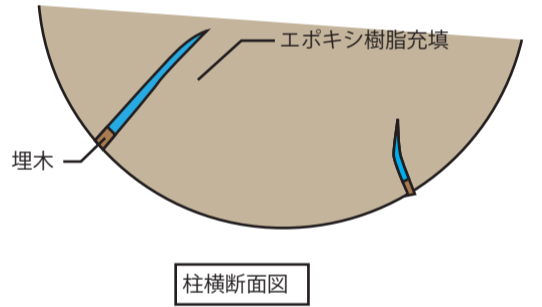


はしら おお きれつ はい
柱に大きな亀裂が入っている



埋木

施工方法



エポキシ樹脂注入前、漏出防止の養生



エポキシ樹脂充填